

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				
		公表日 令和7年3月31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	十分スペースはある。		人口密度が圧迫しないよう配慮する。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2			病欠等の際にしっかりと配置が取れるよう徹底する。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	常に掃除等を徹底し、安心安全を意識している。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	パーテーションを利用し、個別空間を作っている。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1			全職員が徹底して行う事が出来ているわけではないため、研修等で共通認識を図る。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	4	現段階では管理者が窓口になっている		管理者だけでなく誰でも対応できるようにしていく
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	代表取締役と管理者が原則行っている。		話しやすい環境づくりを徹底する。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5			第三者外部評価を行っていない為、コンサル等を検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修は定期的に行っている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	HPに乗せている。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	職員で会議を行っている。		小さなことでも会議することで共通認識しサービス提供に当たるよう工夫する。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	見える化を行っている。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	4			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	毎朝ミーティングで共有している。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	1ヵ月毎に連日かぶらないようなイベントカレンダーを作成し、保護者に配布している。		

	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	ミーティングを毎朝開催し、その日の支援や昨日の様子や改善点を話し合いしている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3		人員配置によっては毎日できているわけではないので、出来ない日でも翌日には必ず行う様にする。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日必ず提供記録を作成しており、必ず保護者へ配布している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	管理者が原則行っている	管理者が参加した後ボトムダウンできるようには会議等を継続して開く。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	保護者から聞いたかかりつけ医と法人で提携している医療施設と連絡ができるようにしている。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	管理者が原則担当者会議等行っている。	その後共有する時間を設けることで共通認識できるように心がける。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	管理者が原則ケース会議や担当者会議を行っている。	その後共有する時間を設けることで共通認識できるように心がける。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	助言を受ける機会を設けている。	
児童発達支援計画	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	同グループの学童と共同でイベントを行う事が出来ている。	地域の交流は出来ていないので、慎重に検討する。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎の際に提供記録に書き切れていないことも丁寧にお伝えするようにしている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	ペアトレまでは行う事が出来ていないが、必要に応じて助言等は行う事が出来るような取り組みを実施している。	慎重に検討していく。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	懇切丁寧に説明を心がける。運営規定等は玄関などに掲載している。	
児童発達支援計画	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	4		研修などでどのような手続き流れで行っているか見える化を図る。
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	3		研修などでどのような手続き流れで行っているか見える化を図る。
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	何か悩みや相談を受けた場合、必ず職員会議を行い、全員に共有している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	父母の会は行っていない	慎重に検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速かつ丁寧に対応し、説明に関しても懇切丁寧に行うよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	Instagramで定期的に配信している。	全ての方がSNS等を利用できるわけではないので、紙媒体で配布も考える。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報に関しては、徹底して留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	原則管理者が行っているが、全員が出来るよう徹底する。そして何かあった場合は、ミーティングなどで共通認識を行う	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	何かイベント（餅つき）等があった場合、近所に配ったり手伝ってもらったりしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	玄関にて見える化している。	今後hpにも掲載するか検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		継続して訓練等を行うよう意識していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	アセスメントの段階でアレルギー等に関しては具体的かつ対応方法まで聞いている。	キッキンにアレルギーや薬の一覧表を掲示。服薬に関しては原則行っていない。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーに関しては保護者の方から書面にて詳しく確認する。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	研修を継続的に行っていく	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	定期的に連携を取り、周知徹底している。	継続して行っていくよう心掛ける。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハットは定期的にミーティングなどでお知らせし、改善方法等を話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	実際に研修を通して全員で共通認識する。	外部などの研修にも積極的に参加していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	身体拘束等の説明は懇切丁寧に行うが、現段階で身体拘束を行ったことはない。	